

## 北京中医薬大学日本校友会への思い

このたび、有志の皆様のご努力により、北京中医薬大学日本校友会の設立が決定しました。設立にあたり、母校からの多大なご関心をいただき、準備委員会の皆様のご尽力や、校友の皆様のご協力によって、日本校友会の準備が順調に進み、設立する運びとなりました。

私事ですが、北京中医薬大学の卒業も42年前のこととなりました。私は1972年、北京中医学院に入学したと同時に、目の前に突如として中医学の世界が広がりました。任応秋・王綿之・王玉川・劉弼臣・焦樹徳などイキイキとして教壇に立たれている名高い先生方が、何千年も前から使われている哲学・医学・中薬などに関する話を始めると、さも自分が太古の人間になったような心地よい錯覚に陥りました。次第に勉強が面白くなりだした私は、人生に役立つ知識と技術を身につけると同時に、恩師方や、校友との友情も育みました。

あっという間に大学を卒業し、中国で臨床医師や雑誌編集の仕事をした後に来日し、すでに28年が経ちました。異国の地でいろいろな不安を抱えていましたが、助けていただいたのは、北京中医薬大学の素晴らしい先生方に教わった中医学の知識でした。

日本には私と同じように、中国から来た北京中医薬大学出身の校友がたくさん居ます。校友の一人一人が、さまざまな苦難を乗り越えて、自身で世界を開拓し、漢方相談・鍼灸按摩・薬局・教育・気功など、中医学の知識を普及しながら、日本に根を下ろして安定した生活を過ごしています。また、留学生として中国に渡って、北京中医薬大学で学習した後に日本に戻ってきた日本人の校友も多数居ます。これらの方々も、日本における東洋医学の領域で、中医学という新しい風を吹き込んでいます。

このような私たち校友に共通するものは、北京中医薬大学で獲得した知識です。私たちの母校への感謝、恩師への敬意、同級生への思い、中医学に対する信念などさまざまな思いが相まって、このたびの校友会の設立に辿り着きました。

卒業生・留学生・研修生・海外の学生・教職員の皆様、北京中医薬大学日本校友会は私たちの交流の場であるだけでなく、情報の交換や事業の発展など、お互いに助け合うために築く会です。この会で私たちのこれからのあり方について、より考え、より力を合わせて、共通の新しい目標を立てて、実行していこうと思います。

校友の皆様、日本での中医学の継承・発展及び中西医結合に向けて、力を合わせて一緒に頑張りましょう！どうぞよろしくごお願い致します。

北京中医薬大学日本校友会準備委員会代表 辰巳洋

2017年6月17日 東京